

第19回

山と海は、  
つながっている。

# ひろしま「山の日」県民の集いの記録

2021年8月8日(日・祝) 開催  
ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会/中国新聞社/中国放送



## はじめに

広島は里山の邦と言ってもいいでしょう。 広島の里山は、里、川、まち、そして海ともつながり、多くの恵みをもたらし、命を育んでいます。

人と里山、人と山、里とまち、企業と地域・・・ 府中市をメイン会場に広島県内7の市町8会場を結んで、第19回ひろしま「山の日」県民の集いを開催いたしました。

これは、その記録です。

### ●第19回ひろしま「山の日」県民の集い 「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ7割は山です。全国に誇る里山があります。山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。

山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。

広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ、魚や貝を育んでいます。

私たちは、6月の第一日曜日をひろしま「山の日」とし  
ひろしま「山の日」県民の集いを県内各地で開催し  
山の大切さを訴えています。

ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を上げ、  
山がよくなる運動にしていくことを宣言します。

2021年8月8日

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会

会長 前垣壽男

## 目次

1	事業のアウトライン	3
2	各会場の記録	
①	府中市会場:矢野温泉公園 四季の里	4
②	東広島市会場:東広島市憩いの森公園	10
③	廿日市市会場:県立もみのき森林公園	14
④	広島市会場:ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)	16
⑤	広島市会場:ひろしま遊学の森(広島市森林公園)	17
⑥	福山市会場:ふくやまふれ愛ランド	18
⑦	北広島町会場:八幡高原	19
⑧	竹原市会場:竹原市役所	21
3	実行委員	22
4	ひろしま「山の日」県民の集いの歩み	24

# 1. 事業のアウトライン

1 目的	森林ボランティアや民間が中心となり展開してきた、ひろしま「山の日」県民の集いも 18 回目となる。目標の一つとしてきた、「山の日」が平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日になり実現した。将来、広島県内全 23 市町で展開できるよう制定に広島県など行政も加わった県民参加の森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的にする
2 日時	2021 年 8 月 8 日(日・祝) 集いの行事
3 場所	広島県内 7 市町 8 会場  府中市会場(矢野温泉公園 四季の里) 東広島市会場(東広島市憩いの森公園)、廿日市市会場(県立もみのき森林公園)、広島市会場ひろしま遊学の森(広島県緑化センター・広島市森林公園)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)、北広島町会場(八幡高原)、竹原市会場(竹原市役所)
4 総参加者	1,231人 (山の手入れ等参加者 198人)
5 主催	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
6 特別協力	ひろしまの森林づくりフォーラム
7 後援	林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、竹原市、広島市、呉市、三原市、庄原市、国土交通省三次河川国道事務所、備北公園管理センター、福山市、東広島市、廿日市市、北広島町、尾道市、竹原市、府中市、(公社)国土緑化推進機構、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟、(公社)日本山岳会広島支部、(一財)全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
8 協賛	西条・山と水の環境機構、(株)有斐園、(株)ウッドワン、山陽乳業(株)、JA グループ広島、(株)タカキベーカーリー、中国木材(株)、マツダ(株)、広島県森林組合連合会、尾道商工会議所、神沢精工(株)、クニヒロ(株)、山陽工業(株)、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、広島市漁業協同組合、(株)広島バスセンター、福山商工会議所、日の丸産業(株)、みずえ緑地(株)
9 助成	ひろしまの森づくり事業(交付金事業) 「緑の募金」助成事業

## 2. 各会場の記録 ①府中市会場 矢野温泉公園四季の里

全体

■参加人数：400人

＜プログラムの状況＞

第19回ひろしま「山の日」県民の集いが、府中市をメイン会場にして、県内各地で開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、2度延期となりましたが、メイン会場である府中市会場では、時間短縮し飲食提供を中止するなど、感染症予防対策を行うことで、開催することができました。当日は台風9号の影響が心配されましたが、天候にも恵まれ、和やかな集いとなりました。



▲小野申人市長 歓迎の挨拶



▲府中市立上下南小学校5.6年生による和太鼓の  
パフォーマンスで幕開け



▲広島県緑化功労賞表彰式の様子



▲ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会  
前垣壽男会長 挨拶



▲「府中市立上下南小学校」ひろしま「山の日」宣言

## 記念植樹

■参加人数：15人

＜プログラムの状況＞

令和3年8月8日（日）に、府中市メイン会場の式典で、来賓、上下保育所の園児、主催者で桜の苗木2本の記念植樹を行いました。



▲記念植樹の様子



▲上下保育所の園児たち



▲記念植樹メンバー全員の記念撮影

## ステージイベント

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

府中市立上下南小学校5・6年生による和太鼓演奏、地元府中市出身のプロの和太鼓奏者竹内孝志さんのトークショーやカフオンステージで、会場を盛り上げました。



▲府中市立上下南小学校5・6年生による和太鼓のパフォーマンス



▲太鼓ユニット我龍の竹内孝志さんトークショーの様子



▲ふちゅうカフオンのミニコンサートの様子

## ひろしま森づくり事業 パネル展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、広島県農林水産局森林保全課がひろしま森づくり事業のパネル展示を行いました。



▲ひろしま森づくり事業のパネル展示の様子

## 岳山山頂 VR 体験

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、VRグラスを装着して、岳山山頂上空からの一望を360度VR仮想体験でき、イベントコーナーでは、岳山をテーマにした太鼓ユニット我龍のミュージックビデオ上映も行いました。



▲岳山山頂上空からの360度VR仮想体験する様子

## 里山ドローン体験

■参加人数：60名

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、あやめ園内にドローンのフライト会場を特設し、協力団体パイロットによるデモフライト実演披露や、協力団体によるドローンの操縦体験を行った。ドローンの操縦体験を行った子どもたちは、自分が操縦するドローンから映し出されるあやめ園の景色を見ながら、一生懸命操縦し、無事離陸地点に着陸できると歓声を上げて喜んでいました。



▲ドローン操縦体験受付の様子。



▲ドローンの操縦体験の子どもたち



## ふちゅう観光物産展

■参加人数：30名

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、上下まちづくり協議会による観光PRや特産品のお茶、ブルーベリーやつきたての矢野の餅の販売に多くの人が集まりました。



▲特産品販売の様子

## 和紙あかりの制作体験

■参加人数：10名

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、上下まちづくり協議会による和紙あかりの制作体験に多くの家族づれが体験し、上下町の風情のある和紙あかりが出来上がると、家族みんなでうれしそうに眺めていました。



▲和紙あかり制作体験の様子

## 地域特産品の販売と カブトムシの無料配布

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、矢野地域づくりの会による地元矢野地区のとれたて野菜や手作り漬物の販売、手作り小物の販売に多くの人でにぎわいました。また、10時00分からはカブトムシのツガイを先着60名に無料配布し、多くの子もたちがうれしそうに虫かごの中のをのぞく姿が見られました。



▲とれたて野菜や手作り漬物の販売の様子

## 自然工房ものづくり体験

■参加人数：70名

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、里山倶楽部による自然材を利用した竹の水鉄砲と竹トンボづくり、フィンランドトーチづくり、苔玉を利用した苔玉テラリウムづくりなど、大人も子どもも完成した作品で遊んだり、大きなフィンランドトーチを抱えて帰ったりと多くの人でにぎわいました。



▲竹の水鉄砲で遊ぶ子どもたちの様子



▲フィンランドトーチづくりの様子

## ふちゅうカフオンの制作体験

■参加人数：20名

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、府中家具の端材（桐材）を活用したカフォン打楽器の制作体験を多くの人が体験しました。出来上がるまでは、それぞれ黙々と制作し、完成すると自分で制作したカフォンを思い思いに叩いて音を出したり、大人も子どもも大事そうに抱えて帰られました。



▲カフォン制作の様子

## 丸太切り体験

■参加人数：10名

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、年輪クラブと広島県東部森林組合による丸太切り体験を行いました。体験した人はノコギリで丸太を切ることの大変さを体感しながら、一生懸命に丸太を切っていました。



▲丸太切り体験の様子

## 森林活動パネル展

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

10時00分から11時40分まで、甲奴郡森林組合と広島県東部森林組合に日頃の森林整備活動等のパネル展を行いました。日頃の活動を来場者に知っていただく機会となりました。



▲森林整備活動等のパネル展示の様子

## 森林整備・アジサイ・モミジの 植樹

■参加人数：20名

＜プログラムの状況＞

令和3年7月下旬に、森林整備を行い、8月10日に矢野地域づくりの会が中心となって、アジサイの苗30本とモミジの苗30本の植樹を行った。



▲アジサイとモミジの植樹の様子

## ライブ映像を生配信

新型コロナウイルス感染症対策のため、メイン会場の矢野温泉公園四季の里への入場者数に制限があるため、ひろしま「山の日」県民の集い府中市会場のライブ映像を、市内のi-coreFUCHUの大型ビジョンに生配信を行いました。親子でi-coreFUCHUを訪れた方々にも、ライブ映像を見ながら、ひろしま「山の日」県民の集いに参加している雰囲気を感じてもらうことができました。



## 閉会式

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

11時40分から閉会式を行いました。コロナ禍でいろいろな制約等がある中、大変有意義であったと講評があり、次回開催地である神石高原町へフラッグが引き継がれました。恒例のもちまきは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、府中市出身でプロの和太鼓奏者の竹内孝志さんの力強い和太鼓の演奏で閉会しました。



▲広島大学名誉教授 中越信和氏の講評



▲第20回メイン会場開催地 神石高原町へ  
山の日フラッグの引継ぎ



▲太鼓ユニット我龍の竹内孝志さん

記録者：岡田悦子（府中市経済観光部農林課）

## ②東広島市会場 東広島市憩いの森公園

全体

■参加人数：119人

### <プログラム状況>

東広島市会場は、憩いの森公園の多目的広場をメイン会場として、広場では2つの体験ブース、山林内ではネイチャーゲームと山のグラウンドワークを行いました。東広島みどりの少年団の団員を中心に、少年団指導者、保護者、一般の家族連れなど、来賓およびスタッフを含めて総勢119人の参加がありました。

「山の日」のミッションである「山に親しみ、山の恩恵に感謝する日」を念頭に置き、里山の手入れを行う「山のグラウンドワーク」を中心に、自然を感じ、自然に親しむ「森のネイチャーゲーム」、林業を身近に感じる「丸太切り体験」、森の恵みで暮らしを彩る「森の木工体験」を行いました。

コロナ災禍のため、さまざまな制限がある中での開催となりましたが、手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保を確実にを行い、また熱中症や毒虫にも注意を払いながら、安全かつ楽しく実施することが出来ました。里山の手入れは継続することが重要です。本会場では、10月にも山のグラウンドワークを予定しており、再開を約束し、笑顔での閉会となりました。

記録者：岩見潤治（実行委員会 事務局）



▲開会挨拶 島 靖英 実行委員長



▲来賓挨拶 高垣廣徳 東広島市長



▲東広島みどりの少年団による「山の日宣言」



▲松浦作業指導者から「夏山に入る際の注意事項」の説明



▲船本昌義さんをリーダーに安全祈願

## 山のグラウンドワーク

■参加人数：81人

### <プログラム状況>

今回は、参加者の大半が小学生であること、真夏の8月ということもあり、通常行っている里山整備よりも軽微な作業を心がけました。具体的には、アカマツとコナラの混交林である「桜の広場」において「森のネイチャーゲーム」を体験し、指導者から森づくりの大切さ、里山の手入れの必要性を聞いたうえで、予め伐採しておいたヒサカキやリョウブなどの低木をメイン会場まで運ぶ体験をしてもらいました。

予め伐採しているとはいえ、1～2m程度の長さの樹木を抱えて山道を歩くのは、重労働であったと思います。運んだ樹木は、メイン会場のステージ前に積み上げ、チップ化と堆肥化による物質循環の促進・バイオマスの有効利用について説明しました。また10月に行う予定の「山のグラウンドワーク」について説明し、参加を呼びかけました。

記録者：岩見潤治（実行委員会 事務局）



▲桜の広場に生えるヒサカキやリョウブなどの伐採枝を運び出す様子



▲伐採枝のチップ化と堆肥化による物質循環の促進・バイオマスの有効利用について説明を受ける様子



▲憩いの森での再会を約束し、笑顔いっぱいの記念写真

## 森のネイチャーゲーム

■参加人数：95人

### <プログラム状況>

最初のプログラムは「わらしべ長者」です。メイン会場のステージ前に集合し、3班に分かれて説明を聞きました。参加者は、1本の稲わらを受け取り、山道を歩きながら動植物、鉱物などを観察し、稲わらよりも「価値が高い」または「気に入った」ものが見つければ、その場で稲わらと交換をします。また山道を進み、次の対象物が見つければ、どんどん交換して行きます。ゴール地点である「桜の広場」に到着後、グループごとに集まり、それぞれが交換したものを見せあいながら、気に入ったポイントを紹介し合いました。

「セミの抜け殻」「ヘビの抜け殻」「樹液」「石ころ」「バッタ」「木の枝」など、様々なものと交換することができました。また、何も交換するものが見つからなかった参加者もいました。



▲1本の稲わらを受け取り「わらしべ長者」の説明を聞く様子



▲稲わらと交換した最後のものを見せ合い、その理由を紹介している様子

次に「木こりの親方」というゲームを行いました。まず指導者から参加者に対して「森の役割を知っていますか」という質問がなされました。参加者からは、「森は水を貯え、井戸に水をもたらしてくれる」「動物の住処になる」「酸素を作ってくれる」といった回答が出されました。



▲森の役割、森の大切さ、山の手入れの必要性の話をしている様子

続いて指導者から、「昔から人は山に入って樹木を伐採し、生活の道具を作ったり、燃料にしたりして暮らしに役立てていた」「生活が便利になるにつれ、山に入る必要が無くなり、山が変化した」「里山は手入れを続けないと変化し、保水力が低下したり、動物の住処が荒れてしまう」「憩いの森では森林組合や山水機構が山の整備を続けている」「切る木と残す木をちゃんと選んでいる」という説明がなされました。

「今日は山の整備をする人“木こりの親方”というゲームを楽しみましょう。まず、大人1人を「木こりの親方」に決めます。子どもたちは「木こりの弟子」になります。弟子

たちは「切るべき木」を1本選び、木の特徴を観察します。親方はその木を見ることが出来ません。親方は、弟子たちに質問を投げかけます。「太さ」「高さ」「手ざわり」「木肌のようす」「木の姿形」「枝ぶり」などなど。弟子たちは観察した結果を親方に報告します。最後に親方が森の中を歩き、弟子たちに聞いた特徴から「切るべき木」を探し当てます。



▲樹木を選び、太さや高さ、木肌の様子などをじっくり観察している様子



▲木こりの親方に、樹木の特徴を伝えている様子

3グループでゲームを行い、うち2グループの親方は正しく木を探し当てることが出来ました。弟子たちは、木をじっくり観察し、それぞれの木に特徴があること、正しく伝えることの難しさを学びました。また親方は、弟子たちの意見を聞くことの難しさを実感したようでした。

記録者：浅野敏久

(呉・東広島シェアリングネイチャーの会)



▲木こりの弟子たちから聞いた情報を頼りに、樹木を言い当てる親方の様子

## 丸太切り体験

■参加人数：97人

### <プログラム状況>

県内産の間伐材を用意し、金属製の台座に乗せて、ノコギリで丸太を切ってもらいました。森林組合の職員が、ノコギリの正しい使い方、安全に切る方法を伝えました。



▲ノコギリの正しい使い方の説明を受けている様子

はじめてノコギリを使う参加者もあり、おそろおそろノコギリを動かしながらも、少しずつ刃が入り進んでいくと、驚きとともに力も入り、頑張っ最後まで切り終えることが出来ました。丸太を切ると、たくさんオガ屑が出ること、針葉樹独特の香りがあることを発見し、一人で何本も切る参加者も居ました。切った丸太は記念に持ち帰ってもらいました。

記録者：松浦 尚樹（賀茂地方森林組合）



▲ノコギリをしっかり握って、まっすぐに引く

## 森の木工作体験

■参加人数：97人

### <プログラム状況>

県内産の間伐材を用いて板材を用意し、調味料などを入れるカトラリーボックスを作ってもらいました。予め寸法を揃えてあるとはいえ、薄い板材を組み合わせて形を整え、クギや木ネジで留めていくのは簡単ではなかったようです。参加者は、スタッフや指導者に手伝ってもらいながら、金づちや電動ドライバーを上手に使って、カトラリーボックスを組み立てました。最後に無垢材（製材していないヤマザクラの枝）を使ったハンドルを取り付けました。自分の作品に名前を書いて、完成しました。



▲材を組み合わせてカトラリーボックスを組み立てている様子

## ③廿日市市会場 県立もみのき森林公園

全体

■参加人数：500人

＜プログラム状況＞

“安全な森を作ろう！”の合言葉で展開されたこの日のプログラムは、「森林整備」「森のネイチャーゲーム」「ポニーと遊ぼう」のプログラムなどを実施しました。

開会式は、コロナ感染防止のためソーシャルディスタンスを保ち、ひろしま「山の日」県民の集いと「山の日」祝日5周年記念植樹祭を同時開催しました。「山の日」植樹祭の安井実行委員長の開会挨拶に続き、「山の日」宣言は、協会職員の上川が宣誓しました。締めくくりは人と樹の会の畝本さんが恒例の作業安全祈願の「どんぐり！ころころ！」を力強く三唱して式典を終了しました。

“安全な森を作ろう！”を合言葉の森の手入れは、森林ボランティア（15人）が、体育館裏の松の木を伐採整理しました。

今回の森林整備の場所は、体育館に隣接して生えた松の木が建物に影響を及ぼすことで伐採しました。

また、「山の日記念祝日5周年記念植樹祭」では、もみのき森林公園内の小室井山（標高1072m）に、200本植栽しました。

この日、もみのき森林公園で行なわれた森林の多様性に関する体験活動は、次のとおりです。

- 森のネイチャーゲーム 参加者 15人
- ポニーと遊ぼう 参加者 39人
- 山の日記念祝日5周年記念植樹祭 参加者 60人

記録者：梅田 斉

（一般財団法人もみのき森林公園協会）



▲開会式の様子



▲森林整備の参加者

## 安全な森をつくろう！



▲森の手入れ 松の木の伐採整理の様子

## ポニーと遊ぼう



## 森のネイチャーゲーム



## ④広島市会場 ひろしま遊学の森（広島県緑化センター）

全体

■参加人数：43人（入園者数約 540人）

レストハウス裏庭を会場に、午前10時、山根副委員長の挨拶で開会しました。

会場では「森のネイチャーゲーム」、「自由工作塾」計2つの従来の参加型プログラムと、皆さん、それぞれにチャレンジされていました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



▲開会式にて山根道廣副委員長の挨拶

### 森のネイチャーゲーム

■参加人数：13人

<プログラム状況>

周りの自然をじっくり見てもらいたいと思い、「葉っぱのスタンドグラス」を用意しました。参加者は葉っぱの形をくり抜いた黒い画用紙に、園内で見つけたいろいろな色の葉っぱを張り付けて、光にかざした時の変化を楽しんでいました。

参加者は少し少なかったですが、ひとり一人の保護者の方とお話ができ、木洩れ日の中でゆっくり楽しんでいたのが印象的でした。

記録者：住吉 和子

（広島市シェアリングネイチャーの会）



▲「葉っぱのスタンドグラス」を作成している様子

### 自由工作塾

■参加人数：30人

<プログラム状況>

木片や小枝、松ぼっくり、どんぐりなど色々な自然素材を準備しました。参加者は、まず自分で自由に材料を選び、グルーガン・接着剤で取り付けたたり、カラーペンで色付けしたり、自由な発想で自然素材を活用しての木エクラフトに熱心に取り組んでいました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



▲素材選びをしている子どもたちの様子

## ⑤広島市会場 ひろしま遊学の森（広島市森林公園）

全体

■参加人数：27人

＜プログラム状況＞

当初6月6日（日）の予定が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月8日（日）に延期になりました。当日は、台風の接近によって実施が心配されましたが、逆に朝から29℃と蒸し暑く熱中症に配慮しながらの開催になりました。

9時半に管理センターデッキにおいて、「もりメイト倶楽部 Hiroshima」の見勢井誠顧問により、ひろしま「山の日」が生まれた背景と今までの経緯の説明および前垣壽男会長の「参加者に対する御礼」代読があり、続いて、ひろしま遊学の森（広島市森林公園）下博文副園長によって、ひろしま「山の日」宣言を行い、半日の無事故を祈って開始しました。

イベントは、「山の日」に相応しく「里山の手入れ」を実施しました。「桜の名所をつくろう！」をテーマとして鷹ノ条山のサクラと、併せてコバノミツバツツジの良好な成長に必要な日照を確保するために周囲の樹木を間引く間伐作業を行っていただきました。初めてノコギリを持ったような子どもさんからベテランのシニアまでの参加者が支障木を一所懸命切って森林の手入れをしていただきました。そして、スタッフの尽力と参加者の協力を得てイベントが滞りなく進み、森の役割や手入れの重要性を学習され、12時のイベント終了まで、広島市森林公園での半日の間楽しく作業が進み有意義に過ごしていただきました。

記録者：桑田 莊一郎（広島市森林公園）

山本恵由美

（もりメイト倶楽部Hiroshima 理事長）



▲もりメイト倶楽部Hiroshima」見勢井誠顧問による挨拶



▲下博文副園長によるひろしま「山の日」宣言

### 里山の手入れ体験



▲伐倒方法を講師より学習の様子



▲ナラ枯れになった約55cm大径木のコナラの伐倒作業

## ⑥福山市会場 ふくやまふれ愛ランド

全体

■参加人数：14人

＜プログラム状況＞

第19回ひろしま「山の日」県民の集いを、8月8日(日)に例年通り「ふくやまふれ愛ランド(福山市赤坂町)」にて開催をしました。今回は、コロナの影響で8月に延期され暑い夏の開催となりました。また、沈静化していたコロナ感染もぶり返し、8月6日にはコロナ対策で福山市の施設は自粛規制となりました。ふくやまふれ愛ランドと確認をとり新型コロナ対策予防の観点より例年より少ない参加人数14人での開催となりました。

開会式では、開会挨拶に続いて「開会宣言」と「山の日宣言」を行い、ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会前垣壽男会長のあいさつ文をご紹介いたしました。

「山のグランドワーク」への参加者は、14名余りでした。広島県東部森林組合の方で例年同様、植樹箇所にも目印をして頂いたこともあり、植樹(ヤマ桜)及び樹木の手入れ等がスムーズに実施することができました。

最後に、来年はコロナ禍より脱却して、ひろしま「山の日」県民の集いが盛大に開催され充実した1日で終わることが出来るように参加者及び運営のご協力をお願いしました。

記録者:阿吹 英治(光和物産株式会社)

### 山のグランドワーク (里山の手入れ)



▲里山の手入れの様子

### 登山道整備



▲植樹苗木の準備



▲登山道整備後の記念撮影

全体

■参加人数：128人

＜プログラム状況＞

第19回ひろしま「山の日」県民の集い北広島町会場は、日本山岳会広島支部、NPO法人西中国山地自然史研究会が企画・協力し、3つのプログラムを準備しました。「初心者のための登山教室」は、ブナ林が楽しめる北広島町で一番高い山「苜尾山（臥龍山）」を18名で登山しました。また山麓の「霧ヶ谷湿原の整備」は41名で行いました。高原の自然館前の広場でのイベントは、小中学生を対象とした「ツリークライミング」を企画しましたが、11名と体験者が少なくイベントの周知が課題となりました。

開会式では、山の日宣言も読み上げられ、作業や活動を通じて、山に親しみ、山の恩恵を感じる大切さを体験できたのではないかと思います。

ひろしま「山の日」県民の集いをきっかけとし、この地に足を運ぶ人が増えたり、環境保全への関心が高まり、各自がアクションを起こす一助となれば嬉しく思います。

記録者：河野弥生(NPO法人西中国山地自然史研究会)



▲開会式の様子

## 霧ヶ谷湿原 自然再生地下流部の整備

午前10時作業開始し、幸い前日の雨も止み、時折日が差すものの猛暑とはならず、この時期としては比較的作業をし易い天候となりました。今回は主に第1取水堰の上流側で川と木道を挟んだエリアの伐採整理を行いました。

怪我やトラブルもなく14時30分に全作業を終了し、現地で閉会式を行い解散しました。

今回の整備作業により

① 霧ヶ谷湿原自然再生工事の際に、最上流部の湿地化の為に設けられた4本の補助導水路（工事後は放置され現在は干上がっている）が確認され、最上流エリアへの水供給のための掘削・拡張の可能性が見えてきました。

② 右手から木道のまで迫っていた茂みが川沿いまで切り開かれ、訪れた人が安心して通れる環境ができました。（但し、伐採木の整理が不十分なため木道近くに野積みとなっている）

③ 霧ヶ谷湿原の最上流部が草地から木道を越え川沿いの奥まで切り開かれ、県道からも木道からも広々とした景観が生まれました。

記録者：斎陽(日本山岳会広島支部)



▲霧ヶ谷湿原自然再生地下流部整備の様子

## 初心者のための登山教室 ～苜尾に登ろう～

標高1,223mの苜尾山（臥龍山）を、日本山岳会のメンバーから登山のコツなどのレクチャーを受けながら登ります。集まった参加者は、苜尾山（臥龍山）にはじめて登る！という方が多く、とても楽しみにしておられ、山の日イベントの企画があつてよかった、という声も聞かれました。千町原の登山口からアプローチする予定でしたが、午後から天候が崩れそうだという予報から、リーダーの判断で、ショートカットのコースとなりました。8合目からブナ林を経由して頂上に行き、記念撮影。途中旅をするチョウ「アサギマダラ」の姿もありました。登山道はササが刈ってありとても歩きやすく、初心者にはぴったりの山歩きとなりました。

記録者：河野弥生（NPO 法人西中国山地自然史研究会）



▲苜尾山（臥龍山）にて記念撮影

## ジュニア向け ツリークライミング

コロナウイルスの影響を受け、密にならない工夫として、例年のツリークライミングは中止し、木間にロープを渡した綱渡りのアクティビティを設置しました。コナラの木陰にハンモックも設置し、リラックススペースも。日本山岳会広島支部のスタッフによる見守りの体制がしっかりしていたので、安全に実施できました。

記録者：河野弥生（NPO 法人西中国山地自然史研究会）



▲木間にロープを渡した綱渡りのアクティビティの様子

## ⑧竹原市会場 竹原市役所玄関ホール

全体

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

令和3年8月2日(月)～令和3年8月10日(火)に、第19回ひろしま「山の日」県民の集い、竹原市会場にて『竹原山岳会の活動内容の展示』を竹原市役所玄関ホールにて行いました。市役所の窓口にこられた方で、興味がある方が観られていました。

記録者：尾久葉 哲秀（竹原市建設部建設課）

### 竹原山岳会の活動内容の展示



▲竹原市役所玄関ホールの様子



▲竹原市役所玄関ホールの様子



▲竹林空間広場

# 3. 実行委員

## 実行委員会（全体）

### ■アドバイザー

城納 一昭 元・広島県副知事  
中越 信和 広島大学名誉教授  
伊藤 利彦 愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 幹事 元・広島市収入役  
山崎 裕美 広島県農林水産局 森林保全課 課長  
奥迫 輝昭 (公社)広島県みどり推進機構 事務局長  
岡島 鉄也 中国新聞社 代表取締役社長  
宮迫 良己 (株)中国放送 代表取締役社長

### ■会長

前垣 壽男 西条・山と水の環境機構 理事長

### ■副会長

内海 康仁 光和物産株式会社 代表取締役社長  
櫻井 充弘 ひろしま人と樹の会 事務局長  
見勢井 誠 NPO法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 顧問  
瀬川 千代子 エコロジー研究会 事務局長  
山田 雅昭 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟会長  
箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会会長、  
エコパークの森づくり副実行委員長

### ■委員

赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長  
秋山 浩三 広島県シェアリングネイチャー協会 事務局長  
細川 正紀 阿品の森サポータークラブ 事務局長  
齋 陽 (公社)日本山岳会広島支部 支部長  
井上 年光 阿品の森サポータークラブ 会長  
志々田 学 (公財)オイスカ広島県支部 事務局長  
小川 俊章 中国木材株式会社 総務課長  
副島 靖夫 ひろしま遊学の森(広島市森林公園) 園長  
近藤 紘史 NPO法人西中国山地自然史研究会 代表  
河野 弥生 NPO法人西中国山地自然史研究会  
柴田 壮太郎 エコロジー研究会ひろしま  
仙田 信吾 (株)サンフレッチェ広島 代表取締役社長  
谷村 恭佐 (一財)もみのき森林公園協会 理事長  
吉田 幸 株式会社中国放送 総務局広報部長  
野本 利夫 NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所 理事長  
林 高正 板橋さとやま倶楽部 理事長  
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長  
渡部 英美 (株)中国新聞企画サービス 課長  
中嶋 剛二 広島県森林インストラクター連絡協議会  
福永 やす子 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟  
菅原 基晴 中央森林公園協会常務理事 兼事務局長

### ■監事

梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

### ■事務局（委員兼任:事務局長）

山本 祐二 NPO 法人ひろしまNPO センター 常務理事

## 各会場実行委員会

### □府中市会場実行委員会

■実行委員長 村上 明雄 府中市 副市長  
■副委員長 高橋 良昌 府中市観光協会 会長  
■事務局長 田原 慎吾 府中市経済観光部農林課 課長

### □東広島市会場実行委員会

■実行委員長 島 靖英 西条・山と水の環境機構 運営委員  
■副委員長 浅野 敏久 広島大学大学院人間社会科学科教授  
呉・東広島シェアリングネイチャーの会  
■運営委員長 松浦 尚樹 賀茂地方森林組合  
■事務局長 岩見 潤治 西条・山と水の環境機構 事務局

### □廿日市市会場実行委員会

■実行委員長 谷村 恭佐 (一財)もみのき森林公園協会 理事長  
■副委員長 細川 正紀 阿品の森サポータークラブ 会長  
■事務局長 梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

### □広島市(広島市森林公園)会場実行委員会

■実行委員長 副島 靖夫 広島市森林公園 園長  
■副委員長 下 博文 広島市森林公園 副園長  
■運営委員長 山本恵由美 NPO 法人もりメイト Hiroshima 倶楽部 理事長  
■運営副委員長 伊東 軍治 フォレストクラブ森守 代表  
■事務局長 桑田 莊一郎 広島市森林公園

### □広島市(広島県緑化センター)会場実行委員会

■実行委員長 正本 大 みずえ緑地(株) 代表取締役社長  
■副委員長・事務局長 山根 道廣 広島県緑化センター 所長  
■運営委員長 行森 章 広島県緑化センター  
■運営副委員長 小林 俊幸 広島県緑化センター  
■事務局長 山根 道廣 広島県緑化センター

### □三原市会場実行委員会

■実行委員長 福島 偉人 株式会社有斐園 取締役会長  
■副委員長 吉川 進 三原市経済部 部長  
■運営委員長 榘宗 正則 NPO 法人森のおさるさん 理事長

■運営副委員長  
木下 眞 三原市シルバー人材センター本郷支所長  
■事務局長  
菅原 基晴 (一財)中央森林公園協会 常務理事  
兼事務局長

□庄原市会場実行委員会  
■事務局  
末長 秀紀 備北公園管理センター企画広報課

□福山市会場実行委員会  
■実行委員長  
内海 康仁 光和物産(株) 取締役社長  
■副委員長  
赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長  
■事務局  
阿吹 英治 光和物産(株)

□三次市会場実行委員会  
■実行委員長  
箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会 会長  
酒屋森づくり実行委員会 委員長  
■事務局長  
松本 隆志 三次市産業環境部農政課 課長

□呉市会場実行委員会  
■実行委員長  
堀川 保幸 中国木材(株) 代表取締役会長  
■副委員長  
佐藤 一教 三菱日立パワーシステムズ呉工場エコクラブ  
■運営委員長  
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長  
■副運営委員長  
遠藤 勇人 三菱日立パワーシステムズ呉工場エコクラブ  
■事務局長  
小川 俊章 中国木材株式会社 人事・総務部  
人事課長

□北広島町八幡高原会場実行委員会  
■実行委員長  
近藤 紘史 NPO 法人西中国山地自然史研究会  
理事長  
■事務局長  
河野 弥生 NPO 法人西中国山地自然史研究会

□尾道市会場実行委員会  
■実行委員長  
杵谷 正樹 (株)純正食品マルシマ 代表取締役社長

□安芸太田町会場実行委員会  
■実行委員長  
佐々木 徹 太田川森林組合 代表理事組合長  
■副委員長  
大倉 啓司 安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会  
情報宣伝部 会長  
■事務局長  
瀬川 善博 安芸太田町産業振興課 課長

□大竹市会場実行委員会  
■事務局  
早川 大竹市産業部 産業振興課  
□世羅町会場実行委員会

■実行委員長  
山口 勝博 世羅郡森林組合 代表理事組合長  
■監事  
宮本 幸三 (株)セラアグリパーク 常務取締役  
岡本 信正 西上原・新山森の会 代表  
■事務局長  
大原 幸浩 世羅町産業振興課 課長

□大崎上島町会場実行委員会  
■実行委員長  
河野 亮三 大崎上島町の森づくり事業推進協議会 会長  
■事務局長  
藤原 通伸 大崎上島町 建設課 課長

□江田島市会場実行委員会  
■実行委員長  
伊藤 富美雄 (一社)江田島市観光協会 代表理事  
■副委員長  
越智 剛 古鷹フレンドシップクラブ 理事長  
■事務局長  
藤田 幸広 江田島市産業部農林水産課 課長

□竹原市会場実行委員会  
■実行委員長  
梶村 隆穂 竹原市建設部 部長  
■副委員長  
日向 輝武 竹原市山岳部 会長  
■監事  
大田 哲也 竹原市建設部 参事  
下垣内 良博 尾三森林組合  
■事務局長  
松岡 俊宏 竹原市建設部建設課 課長

※以上、2021年8月8日時点での委員及び所属等を記載しております。  
たくさんの方々に協力していただき行事を行なうことができました。  
心より感謝申し上げます。

## 4. ひろしま「山の日」県民の集いの歩み

### 1. 「山の日」のきっかけ

森林ボランティアに関わる人たちが全国から集まり、第7回森林と市民を結ぶ全国の集い（会期：2002年2月9日～11日 開催場所：広島県東広島市とその周辺 主催：第7回森林と市民を結ぶ県民の集い実行委員会他 総参加者：2,294人）が開催されました。その初日のシンポジウムにおいて、パネリストの1人から「山の日」をつくろうとの提案がされました。

提案を受け、分科会等での議論等を経て、集いの締めくくりに、私たちからのメッセージとし「6月の第一日曜日を山の日として、その日は山に関わろう」というメッセージを発信しました。

### 2. ひろしま「山の日」県民の集いの積み重ね

山の大切さをできるだけ多くの人たちに知っていただきたい。そのきっかけづくりとしてひろしま「山の日」県民の集いを広島県内各地の会場で開催しています。第1回～4回までは、広島県内1ヶ所の会場で開催していました。第5回以降、・メイン会場と・サテライト会場方式として県内数ヶ所で同時開催、第18回までは、あわせて1万3千人が参加する行事になっています。

回数	日時	場所	参加者 (人)	主催
1	2002年6月1日(土)・ 2日(日)	東広島市	1,500	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
2	2003年6月7日(土)・ 8日(日)	廿日市市	3,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
3	2004年6月5日(土)・ 6日(日)	広島市	2,400	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
4	2005年10月15日(土)・ 16日(日)	三原市	5,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、平成17年度広島県植樹祭実行委員会
5	2006年10月22日 (日)  ※全国育樹祭と連携	○メイン会場：庄原市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市	11,700	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社
6	2007年10月20日(土)・ 21日(日)	○メイン会場：福山市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市、庄原市	10,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社

7	2008年10月18日(土)・ 19日(日)	○メイン会場：三次市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市、三原市、 庄原市、福山市	10,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社
8	2009年6月6日(土)・ 7日(日)	○メイン会場：呉市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市	7,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
9	2010年6月5日(土)・ 6日(日)	○メイン会場：北広島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市	8,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
10	2011年6月4日(土)・ 5日(日) <b>※第10回記念行事</b>	広島市(記念講演会) 東広島市、廿日市市、広島市 (2)、三原市、庄原市、 福山市、三次市、呉市、 北広島町	11,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
11	2012年6月2日(土)・ 3日(日)	○メイン会場：尾道市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町	7,000  ※朝、雨	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
12	2013年6月1日(土)・ 2日(日)	○メイン会場：安芸高田市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市	3,200  ※終日雨天	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
13	2014年5月31日(土)・ 6月1日(日)	○メイン会場：安芸太田町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田	9,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

14	2015年6月6日(土)・ 6月7日(日)	○メイン会場：大竹市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市(2)、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町	10,540	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
15	2016年6月4日(土)・ 6月5日(日)	○メイン会場：世羅町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市	7,120	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
16	2017年6月3日(土)・ 6月4日(日)	○メイン会場：大崎上島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、福山市、三次市、 呉市、北広島町、尾道市、 安芸高田市、安芸太田町、 大竹市、世羅町	10,860	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
17	2018年6月3日(日)	○メイン会場：江田島市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町	11,710	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
18	2019年6月2日(日)	○メイン会場：竹原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(注)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町、江田島市 (注)2018年7月豪雨災害の為、 広島市森林公園会場は未開催	13,640	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

19	2021年8月8日(日・祝)	○メイン会場：府中市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、福山市、北広島町、竹原市	1,230	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
----	----------------	--	-------	--------------------------------

※但し、参加者は10人台で計数しています。

---

#### 第19回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

- 発行日           2021年11月1日
  - 発行・編集      ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
  - 監修             中越 信和(広島大学 名誉教授)
  - 事務局           〒730-0013 広島市中区八丁堀3-1  
TEL:082-511-3180 FAX:082-511-3179  
e-mail:info@yamanohi.com
-



- 山の日ロゴ: 山と人との調和をモチーフにデザイン開発。  
基本カラーはエコグリーン。  
デザインは木原実行さん。



(この行事は、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して開催しています。)

ひろしまの森づくりキャラクター  
モーリー

